

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

泉鏡花 × 絵本

『絵本化鳥』
泉鏡花／ふん 国書刊行会



『日本の森がないている』
そまこうへい／著 環境省

古風で難解な文体から、ともすれば敬遠されがちな作家は少なくありません。泉鏡花もその一人でしょう。今回ご紹介するのは、そんな泉鏡花の作品を鮮やかな色彩の絵と共に綴った、美しい1冊です。ひらがなに直されている部分もあるので、原文の雰囲気を損なわず、簡単に読み進められます。幼い頃に母を喪った泉鏡花だからこそ書けた、「母への愛の物語。ぜひ手に取ってご覧ください。(新井)



みんなで考えよう、環境のこと。

日本の森のことを親子でいっしょに考えてみませんか?

日本は森がたくさんある、自然がゆたかな国です。でもいま、その森がすこし元気がありません。なぜでしょう? そして、こどもたちのみらいのためにもこの森を元氣にすることが大切です。でもどうやって? その答えはこの絵本の中でくまじいがわかりやすく教えてくれます。

日本の森を元気にすれば、空気がきれいになり、水がきれいになることや、どうすれば元気になるのかを親子でいっしょに考えてみましょう。

この絵本は日本のさまざまな森林保護活動を行っているE.V.E.という団体が制作した「環境読み聞かせ絵本」の1冊です。他のシリーズもあだち再生館の図書コーナーにありますので、読んでみてください。

Vol.5



館長が紹介する
「印象に残った一文」とは?

ぼちぼちいこか

マイク・セイラー／口白・トーマス・グロスマンス
いええよしとむ等



『ぼちぼちいこか』
マイク・セイラー／さく 偕成社

やよい
TOP IX

子どもの頃から、ずっと好きな絵本があります。この本は、そんなお気に入りの1冊です。主人公のカバくんは、いろんな職業に挑戦します。消防士、パイロット、バレリーナに手品師…。しかし、何をやってもうまくいきません(主に体格の問題で)。普通なら最後にはびつたりの仕事が見つかりますが、この本は最後まで見つかりません。でも、だからこそ、最後の「ぼちぼちいこか」という言葉に、ありのままを認めてもらえたような気持になります。新しい環境で疲れが出てくる頃ですが、皆さん、ぼちぼちいきましょう。(丸山)



「そや。ええこと おもいつくまでー
ここらで ちょっと ひとやすみ。」

「旅」と「文学」の関係性は深く、どちらへ出掛けることは人に刺激を与えるようです。今回ご紹介するのは、文豪たちの聖地を巡る本です。読んでみると、意外にも東京近郊に聖地が多いことに驚きます。何日も遠出しなくとも、気持ちひとつでちよつの散歩も、立派な旅に早変わり。気軽な旅に出てみては?(新井)



記念日から見つける、とっておきの1冊。

ゴールデンウィークや、少し先の夏休み。今から旅の予定がある方がいらっしゃるかも知れませんね。ということで、今回のテーマは「旅」です。

5月16日は、あの松尾芭蕉が「おほほ道」の旅に出発した日なのでそう。それを記念し、日本旅のペングラブが1988年に「旅の日」と制定しました。

こんな本もありますよ 『マルカの長い旅』
ミリヤム・プレスラー／作 德間書店

『もいちど修学旅行をしてみたいと思ったのだ』
北尾トロ／著 小学館

NDC を知って図書館を有効活用!

その中から今回紹介する本は「筆箱採集帳」。小学生に始まり、アイドル、会社員、建築家、イラストレーター、保育士、ラッパー、舞台女優、陰陽師など、様々な職業の方々の筆箱が披露されています。文字は少なめで、写真がメインとなっていますが、筆箱自体はもちろん、中身の文房具も細かく掲載されていて、眺めているだけでも楽しめます。読んでみると、つい自分の筆箱を新調したくなるかも?(竹原)

What's
NDC

クイズにこたえて、
図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい: 5月5日は、なんの日でしょうか?

① おとなの日 ② 午後の日 ③ こどもの日

こたえ: _____

『筆箱採集帳』
ブング・ジャム／著 廣済堂出版